

## 品川区庁舎機能検討委員会の実施状況について

### 1. 「第3回品川区庁舎機能検討委員会」について

#### (1) 開催日時

令和2年11月16日（月）午後1時30分から午後3時30分

#### (2) 内容（概要は別紙のとおり）

第2回においていただいたご意見のまとめを事務局より説明した。その後、「区民にとってわかりやすく、利用しやすい庁舎」「区民の協働と交流の拠点となる開かれた庁舎」「機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎」の3つの分野について事務局より説明し、ご審議いただいた。

#### (3) 主な意見

##### ① 「区民にとってわかりやすく、利用しやすい庁舎」

###### ア 窓口機能

- ・書かない窓口をぜひ進めてほしい。
- ・デジタル化に対応できない区民に対しても親切なサービスが必要である。
- ・ワンストップサービスの実現にはひとえにスペースの広さが課題である。
- ・ワンストップサービスの導入でかえって待ち時間が伸びて不便になるようなことがないよう検討が必要である。
- ・組織のあり方や職員の習熟度の課題など、ソフト面を検討してほしい。
- ・何を期待してどんな人が来るか、あるいは、来ないことがむしろ親切なのか考える必要がある。
- ・障害者や高齢者、妊婦向けのサービスは低層階に集約してほしい。

###### イ 相談機能

- ・庁舎を利用する方のための、子どもを預かる機能はぜひ残してほしい。
- ・プライバシーが守られる相談スペースが不足しているので充実してほしい。
- ・Webシステムやリモート対応を、考え方の前面に出したほうが良い。

###### ウ 案内機能

- ・コンシェルジュは、外部委託するのか、それとも専門知識を持った区の職員を拡充するのか、人員をよくよく考えてほしい。
- ・サインはデザイン重視ではなく、情報弱者の視点で検討してほしい。

##### ② 「区民の協働と交流の拠点となる開かれた庁舎」

###### ア 協働・交流機能

- ・交流空間は、枠組みだけあって利用されないようではいけない。活用される仕組みを検討したい。

#### イ 情報発信機能

- ・品川区の歴史や産業の紹介をするスペースがあると、引っ越して来た方や立ち寄った方も品川区の理解が深まる。
- ・大型ビジョンの導入も検討してはどうか。災害時対応やパブリックビューイングにも活用できる。

### ③「機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎」

#### ア 執務機能

- ・フリーアドレスは、職員のコミュニケーションが不足するなど課題も多い。あまりトレンドにこだわりすぎないで検討してほしい。
- ・職員にとっても働きやすい環境を整えて欲しい。トイレの数も少ない。

#### イ 議会機能

- ・委員会室や控室は、長く使うことを考えると、可動式間仕切りなどを検討する必要がある。
- ・議会は区民に身近にあるべきで、超高層建物の最上階は避けたほうが良い。

### ④その他

- ・来庁者や働いている方のためにも衛生面を項目として取り上げてほしい。
- ・低層部にはエスカレーターを設けてほしい。健常者はエスカレーターを使うことで、エレベーターの待ち時間が発生しない。

## 2. 今後の予定

### (1) 第4回品川区庁舎機能検討委員会

#### ① 開催日時 (予定)

令和3年1月22日(金) 午後2時30分から午後4時30分

#### ② 内容 (予定)

分野別審議

### (2) 第5回品川区庁舎機能検討委員会

#### ① 開催日時 (予定)

令和3年3月ごろ

#### ② 内容 (予定)

- ・庁舎機能検討全体のまとめ
- ・区長への答申

第2回の導入機能の検討テーマのまとめ（求められる庁舎機能、機能分類、導入機能のあるべき姿・検討の視点）

区民の安全・安心を支える  
防災拠点となる庁舎

災害対策本部機能	■災害対策本部機能の強化	区の災害対策の中核機能としての役割を果たすため、災害対策本部機能の充実、強化を図る。
	■災害対策本部機能の適切な配置	災害対策本部室および関連諸室は連携して有効に機能する配置とする。また各諸室は、災害対策を前提とした配置・機能とするが、平時には会議室などとしてフレキシブルに活用する。
地域内輸送拠点機能	■地域内輸送拠点としての機能確保	区の中心に位置する地域内輸送拠点として、集配機能を確保する。
災害時の区民受け入れ機能	■広域避難場所の確保	広域避難場所としての機能を、新庁舎を含む一帯のエリアで確保する。
	■被災者対応スペースの確保	被災者の支援を行うための臨時対応スペースを確保する。臨時対応スペースは、平時には区民交流スペースや情報発信スペースとしての活用を検討する。
建物性能・バックアップ機能	■耐震性の確保	災害時に災害対策本部としての機能を発揮するため、高い耐震性を確保する。
	■ライフラインのバックアップ機能の確保	災害発生によりライフラインが停止した場合に備え、ライフラインのバックアップ機能を整備し、業務の継続性を確保する。
	■備蓄スペースの確保	災害発生時に支援物資が供給されないことに備え、必要な資機材や食料、飲料水を保管する備蓄スペースを確保する。
防災普及啓発機能	■防災普及啓発機能の整備	第2庁舎・防災センターに設置している「しながわ防災体験館」について、機能の充実も視野に入れた機能移転を検討する。

環境にやさしい  
低炭素型の庁舎

環境性能	■環境性能の確保	費用対効果を十分に検証したうえで、高い環境性能を備えた庁舎を整備し、環境に配慮する。
省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用	■省エネルギーの推進	省エネルギーを推進するため、高効率で高い省エネルギー性能を持つ設備を導入するとともに、エネルギー使用量を抑える仕組みを検討する。また、環境負荷低減のため、熱負荷の低減や建物の高断熱化等を図る。
	■再生可能エネルギーの活用	太陽熱、地中熱など再生可能エネルギーの積極的な活用を図る。また、災害時におけるバックアップとしての利用も検討する。
周辺環境への配慮	■周辺環境への配慮	敷地や建物の緑化や内装材等への木材の活用、環境負荷低減に配慮した建築資材の活用等により周辺環境に配慮した庁舎とする。

# 第3回品川区庁舎機能検討委員会【令和2年11月16日(月)13時30分～】議題の概要②

## 1.新庁舎機能の分類 - 今回の検討テーマと第2回の検討結果による計画への反映方針（案）

### (1) 令和元年度までのまとめ **第3回の検討テーマ**

求められる庁舎機能	区民に開かれた庁舎	防災拠点機能を強化した庁舎	環境に配慮した庁舎	長く使われる庁舎
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワンストップ窓口などのサービスアップと効率化</li> <li>ユニバーサルデザインへの配慮やバリアフリー化</li> <li>区民と区との協働、交流拠点としての役割</li> <li>働きやすさに配慮した空間整備やICTの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策本部として、区民の安心安全を支える 防災拠点</li> <li>耐震性能、浸水対策、非常用電源などの建物性能</li> <li>災害時の区民受け入れを考慮した建物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高効率、省エネルギー性能を高め、維持管理コストを低減</li> <li>再生可能エネルギーの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会情勢の変化による業務量の増減やICT化など、将来を見据えた環境の整備</li> <li>老朽化による設備機器・配管などの更新などを考慮した計画</li> </ul>

※区民サービス、区民協働・交流、行政・議会、3つの視点で分割

### (2) 再分類による検討案

新庁舎機能の分類案	求められる庁舎機能	(区民サービス)	(区民協働・交流)	(行政・議会)	(防災)	(環境)	(将来対応・経済性)
	導入機能・検討の視点	区民にとってわかりやすく、利用しやすい庁舎  ●窓口機能 ●相談機能 ●案内機能  第3回委員会で検討	区民の協働と交流の拠点となる開かれた庁舎  ●協働・交流機能 ●情報発信機能  第3回委員会で検討	機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎  ●執務機能 ●会議機能 ●議会機能  第3回委員会で検討	区民の安心・安全を支える防災拠点となる庁舎  ●災害対策本部機能 ●地域内輸送拠点機能 ●災害時の区民受け入れ機能 ●建物性能・バックアップ機能 ●防災普及啓発機能  第2回委員会で検討	環境にやさしい低炭素型の庁舎  ●環境性能 ●省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの活用 ●周辺環境への配慮  第2回委員会で検討	将来の変化に対応し、長期間有効に使い続けられる庁舎  ●ライフサイクルコストの低減 ●将来の変化への柔軟な対応  第4回委員会で検討
		●ユニバーサルデザイン	●ICT化やペーパーレス等の環境整備	●セキュリティ対策			
							第4回委員会で統括

## 第3回品川区庁舎機能検討委員会【令和2年11月16日(月)13時30分～】議題の概要③

### 2.第3回の導入機能の検討テーマ（求められる庁舎機能、機能分類、導入機能のあるべき姿・検討の視点）

区民にとってわかりやすく 利用しやすい庁舎	窓口機能	■ワンストップサービスの導入	届出・証明系、子育て系、福祉系、まちづくり系など各種窓口サービスの内容、対象者、利用頻度、関連性等を分析のうえ、関連する窓口の集約化や受付方法の改善により、区民の利便性向上および負担軽減につながる窓口を検討する。
		■窓口および待合スペースの環境整備	手続内容に応じた窓口カウンターの設置や待合スペースの充実により、快適でプライバシーに配慮した空間を整備する。
		■各種行政手続きの電子申請の拡充	スマートフォンやPC等からオンラインで申請できるサービスを拡充し、来庁しないで手続き可能な区役所を目指す。
	相談機能	■相談機能の充実	相談ブースや相談室を相談内容や頻度に応じて適切に配置し、個人情報やプライバシーの保護に配慮しながら、多様な相談に対応できる環境とする。
案内機能	■案内機能の充実	総合案内やフロアマネジャーの適切な配置や、誰もが分かりやすい案内サインの設置により、来庁者をスムーズに案内・誘導できる仕組みを検討する。	

区民の協働と交流の拠点となる 開かれた庁舎	協働・交流機能	■協働・交流機能の充実	区民が気軽に立ち寄り、区民同士の交流の促進や活動を支援するスペースの配置を検討する。災害時には災害対応の臨時スペースとして活用するなど多目的なスペースとして整備する。
	情報発信機能	■区政情報等の積極的な情報発信	区政情報や区のイベント情報、区の魅力を発信するスペースおよび設備を整備する。

機能的・効率的で 柔軟性の高い庁舎	執務機能	■機能的な執務環境の確保	他自治体や民間オフィスの先進事例を参考に、ICTなど最先端技術に対応した機能的で効率的な執務空間を整備する。また、窓口、執務、打合せなど用途ごとの区分けにより機能的な導線を確保する。
		■執務スペースの柔軟性の確保	臨時業務の発生や組織改正、テレワークなど新しい働き方の進展などによるレイアウト変更に、柔軟に対応できるようユニバーサルレイアウトの導入を検討する。
	会議機能	■会議スペースの適切な配置	会議室の利用実態を踏まえ、適切な規模・数の会議室を配置する。利用目的に応じてフレキシブルに活用できる会議室とする。
		■利用環境の整備	会議室管理システムを強化し、効率的な運用を図る。また、ペーパーレス会議やウェブ会議に対応できるICT環境の整備を検討する。
議会機能	■議会機能の充実	区議会と調整のうえ、議会関係諸室や各種設備など議会機能の一層の充実を図る。	